

市の主な事業

八王子市では、食品ロス削減に向けて市民や事業者の皆さんが食品を無駄にしない取組ができるよう、情報提供や仕組みづくりを行っています。



フードドライブの実施

実施場所
 ・市役所2階ごみ減量対策課
 ・南大沢清掃事業所
 ・エコひろば(あったかホール)
 フードバンク団体の
 フードドライブや活動
 については市のホーム
 ページを見てね!



完食応援店制度、
「タベスケHachioji」の運用



ダンボールコンポスト
の普及促進

市民の皆さんができる取組

てまえどり



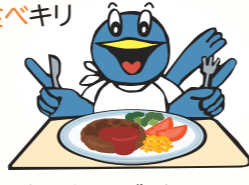
購入してすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品など、期限の迫った商品から取りましょう。

使いキリ



買った食材は、期限に注意して使い切ろう!

食べキリ



食べ残しせず、余っても保存して食べきろう!

水キリ



生ごみを捨てる前にしっかり水を切ろう!
(臭いや虫の発生が防げます)

3キリ運動を皆さんに協力してもらえれば、年間約960トンもの生ごみを減らすことができるんだ!



事業者の皆さんができる取組

サンマル イチマル 30・10 運動

会食時に最初の30分間とお開き前の10分間は料理を楽しみ、食べ残しを減らす運動です。



商慣習の見直し

いわゆる「1/3ルール」とは、賞味期限の3分の1以内の物は、期限前であっても納品や販売が出来なくなるなどなどのルールです。この期限を緩和することで未利用品の廃棄を防ぎます。

食品リサイクル

調理残渣や食べ残しをたい肥にできる施設でたい肥化したり、家畜の飼料にリサイクルすることができます。

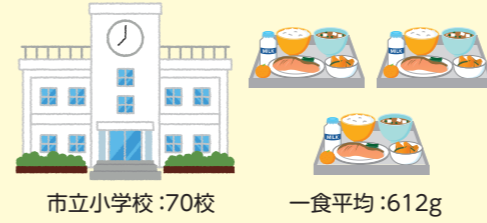


食品ロスに関する取組は他にも。詳しくは市のホームページで確認して、今日からできる食品ロス削減の取組を見つけて、実践してみましょう!

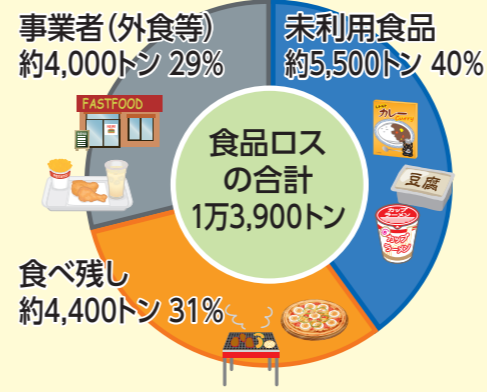


←詳しくはこちら

八王子市の食品ロス量(推計)



食品ロスは
 小学校給食70校分の
 約4年5か月分の量!

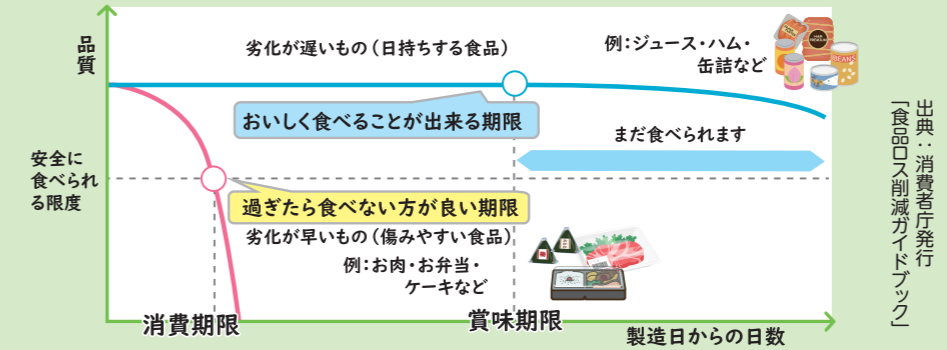


「食品ロス」とは、食べ残しや売れ残り、賞味期限消費期限が近いなどの理由により、まだ食べることができるのに廃棄されてしまう食品のことをいいます。日本では一年間に523万トン発生、これは、世界で飢餓に苦しむ人々に向けた食糧支援量440万トン(令和3年)の1.2倍に相当します。本市においても令和4年度の一年間で1万3千900トンもの食品ロスが発生しています。これは八王子市の小学校給食約2千722万食分で市内70校の

4年5か月分の給食に相当します。右上の写真は、本市の清掃工場に捨てられた食品の一部です。中には、賞味期限や消費期限の到来前の食品が多く含まれており、食べられるのに捨てられている食品が毎日排出されていることがわかります。そのため、市では、3キリ運動や完食応援店、ダンボールコンポストの購入費補助など、様々な施策を実施しています。皆さんもできることから「食品ロス削減」に取り組んでみませんか。

消費期限と賞味期限

食品に表示してある期限を正しく知っていますか? 期限の違いを理解して、食品ロスを防ぎましょう。



～オトクに食品ロス削減～

タベスケ HACHIOJI

「タベスケHachioji」とは、インターネットを利用したフードシェアリングサービスです。市内のお店から、期限の近づいた商品や季節のギフト、規格外の野菜など廃棄される可能性のあるものが割引価格で出品されます。昨年10月からサービスを開始し、1周年をむかえました。利用者が増えることで、大きな循環の輪ができ食品ロス削減につながっていきます。ぜひこの機会にユーザー登録してご利用ください。

かんたん3STEP!! ～タベスケ利用の流れ～

ステップ1



「タベスケHachioji」専用ホームページから簡単ユーザー登録

ステップ2



欲しい食品を見つけて購入予約

ステップ3



お店に行って予約した食品を購入!

登録・利用料無料!



お店をお気に入り登録すると出品時にメールが届きます

ロスになりそうなものが割引で出品!

(例) ゴルフコンペが中止になり出品

商品掲載イメージ



商品名: フルーツゼリー詰め合わせ
 残り個数: 30個
 販売価格: 260円(定価324円) 20%OFF
 削減量: 300g
 受け取り期間: ○年○月○日～○年○月○日まで

【タベスケHachioji協力店インタビュー】

ベーカリーパン(上野町)

タベスケHachiojiを使うことで、販売チャンスが広がりました。

商品が残ってしまった際に冷凍し、詰め合わせにしてタベスケで販売しています。タベスケのおかげで売れ残りを気にすることが減ったので助かっています。また、急激な天候の変化により、客足が少なく残ってしまった場合や形の変形した商品などもタベスケHachiojiを利用しています。

これからもユーザー、協力店が増えることで、ユーザーはお得に商品を購入でき、協力店はさらに廃棄量が減るので、タベスケは食品ロス削減に役立つと思います。



食品ロス・ゼロのまちへ

毎年10月は、「食品ロス削減月間」。食品ロスは資源のムダだけでなく、ごみの運搬時や処理の過程で多くの二酸化炭素(CO2)を発生させてしまいます。そのため、環境負荷の増大を防ぐには、食べられるのに捨てられてしまう食品を減らす必要があります。今号では、食品ロス削減のための様々な取組を紹介します。